



情報モラル 校内研修会

運営マニュアル

学校における情報モラルに関する
指導の充実をめざして

—授業力を高める情報モラル校内研修モデルの構築—

情報モラル校内研修会準備物

下記の方法でダウンロードしてお使い下さい。

タイトル	形式	分量	数
情報モラル校内研修会 事前準備			
【事前準備】児童実態調査票マニュアル【先生説明用】	PDF	A4 4頁 →A4両面2枚	学級数
【事前準備】児童実態調査票 (低学年)	Word	A4 4頁 →A4両面2枚	児童数
【事前準備】児童実態調査票 (中学年)	Word	A4 4頁 //	
【事前準備】児童実態調査票 (高学年)	Word	A4 4頁 //	
【S】児童実態調査結果入力→グラフ作成 (低学年)	Excel	3シート 「研修時印刷用グラフ」シートのみ印刷A3両面1枚	学年分＋予備
【S】児童実態調査結果入力→グラフ作成 (中・高学年)	Excel	3シート //	
◇情報モラル校内研修会 (S T P Dサイクル) 使用資料			
【研修会運営】情報モラル校内研修会 運営マニュアル	PDF	A4 8頁 →A4両面4枚	1部
【研修会運営】情報モラル校内研修会 プレゼンテーション	PPT	A4 13頁	(PC・プロジェクター用意)
【体験1】白ヤギさんと黒ヤギさんのメール交換	Word	A4 2頁 →A4片面1枚	研修参加人数の半数ずつ
【体験2】情報モラル教育2領域5分野(表面)とモデルカリキュラム(裏面)	Word	A4 2頁 →A4片面1枚	研修参加人数
【体験2】子どもの身近にありそうな 15場面の事例シート	PDF	A4 1頁 →A4片面1枚	研修参加人数
【T】ピラミッドチャート	Word	A4 1頁 →A3片面1頁	学年数・特別支援学級数
【P】情報モラル参考教材 リンク集	PPS	A4 4頁	(コンピュータ室フォルダなど)
【P】授業メモ(両面)	Word	A4 2頁 →A4両面1頁	学年数・特別支援学級数
◇情報モラル授業略案 枠			
【D】略案 枠	Word	A4 2頁 研修会後適宜使用	

○付箋 (75mm×25mm) 研修参加人数×5～10 枚

研究の成果物はこちらでダウンロードできます

ダウンロード

京都市立学校の方 (ポータルサイト)

京都市立学校以外の方

京都市総合教育センター

京都市総合教育センター - 教育委員会事務局
www.edu.city.kyoto.jp/sogokyoiku/

京都市情報館

京都市総合教育センター

★What's New

研修課 研究課

★What's New

メニュー

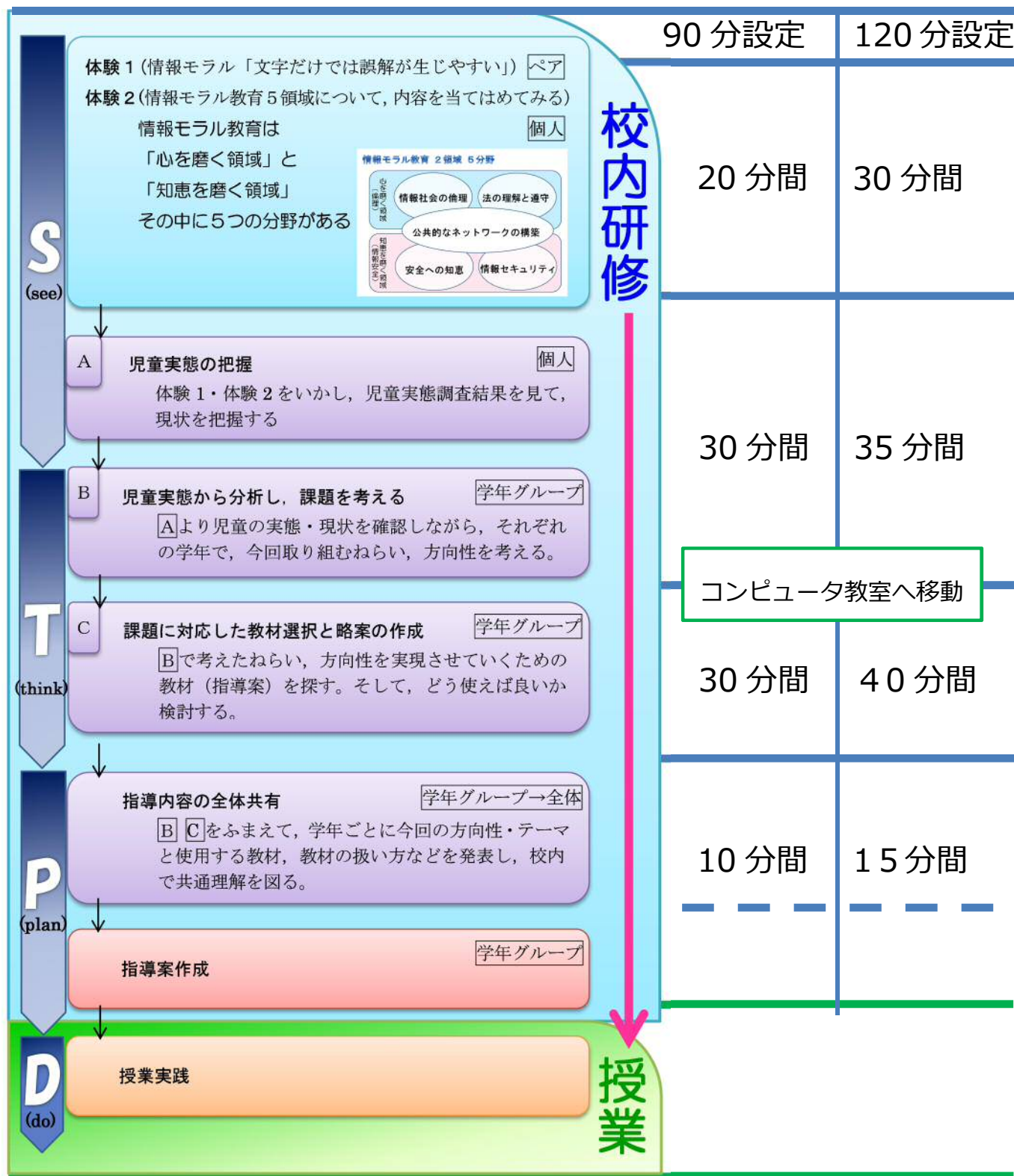
各研究領域とテーマ

研究内容と成果物

教育研究発表会

研究課 NEWSLETTER

情報モラル校内研修および授業実践の全体像と 研修会のタイムスケジュール



研修の進め方

今日は、校内で話し合いながら、子どもたちの実態から考える情報モラルの授業を作り上げていきたいと思います。よろしくお願いします。

体験1

本日の校内研修会の流れ

内容	形態	場所
体験1	ペア	会議室
体験2	個人	〃
児童の実態把握	個人→学年 (学年部)	〃
指導内容の焦点化	学年(学年部)	〃
教材の選択	〃	コンピュータ教室
授業メモ(略案)作成	〃	〃
指導内容の発表	全体交流	〃

まず、はじめに情報モラル学習の体験をみなさんでしましょう。
近くの方とペアで行います。

- ①ペア確認
- ②パワーポイント表示
- ③パワーポイント読む
- ④白ヤギさんと黒ヤギさんの
それぞれの約束と
紙スマートフォンメモの配布
- ⑤5分間計測

(ペアで活動)

- ⑥終わりを告げる
- ⑦感想を聞く(白ヤギさん・黒ヤギさん一人ずつ)
- ⑧お互いの約束を交換して読み合う



活動のルール



- ①話さずに、**5分間**、メールでやりとりします。
- ②白ヤギさんから、メールを作って相手に渡してください。
- ③はじまりに、お手紙をわたします。ペアの相手に見られないように、読んでください。

資料1

体験1

文字だけでは誤解が生じやすいですね。子どもたちには、顔が見えなくても、相手の状況を想像できるようになってもらいたいものです。

また、今のような疑似体験を授業に取り入れることは、メールなどの経験のない子どもにも、考えやすいので、(先生方も感じられたかもしれませんが) 授業に体験を入れることは、とても有効です。

体験2

次に、情報モラル教育の領域について少し説明します。**資料2**を見てください。

情報モラル教育には、「心を磨く領域」と「知恵を磨く領域」があります。それぞれに、情報社会の倫理（相手のことを思いやる、マナーなど）、法の理解と遵守、安全への知恵（使いすぎによる視力低下や、情報の取り扱い）、情報セキュリティとあり、それら4つを土台に、ネットワークは公共的なものであるという理解になります。

情報モラル教育 2領域 5分野 【体験2】



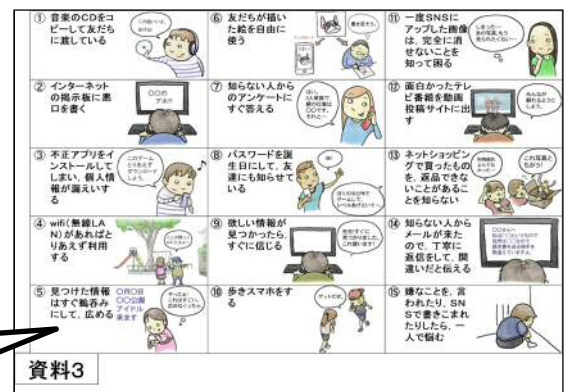
先ほどの、「白やぎさんと黒やぎさんのメール交換」は、「相手のことを思いやることを考える」ことに入りますので、「情報社会の倫理」にあたります。

それでは、いくつか、私たちや子どもの身の回りある事例を用意しましたので、それらが、どの分野になるか、資料2のワークシートに数字を当てはめてみてください。のちほど、答えを出します。

① パワーポイント表示

② 5分間計測

できたら、近くの先生と合わせてみてください。

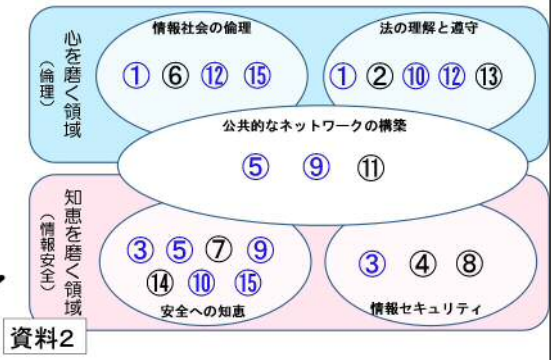


③ 終りを告げる

④ パワーポイント表示

これは、答えの一つです。授業のねらいによっては、このようにならない場合もありますので、参考程度に見てください。

情報モラル教育 2領域 5分野



この後の活動について説明します。

この後の活動について

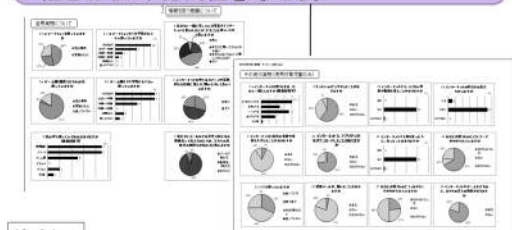
【児童の実態把握】個人→グループ活動

一つ目の活動は、先日各クラスでとってもらったアンケートの学年毎の結果をもとに、児童の実態把握と実態から考えられる課題を考えることです。まずは、一人ずつここから気になることを付箋に書き出してください。

資料4は〇〇に置いてありますので必要な学年を持って行ってください。

【児童の実態把握】グループ活動

1. 事前のアンケートなどを含めて、児童の実態・現状を確認しながら、それぞれの学年で、今回取り組むねらい、方向性を考える。



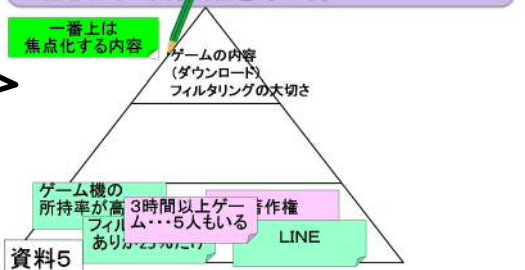
資料4

【指導内容の焦点化】グループ活動

資料6のワークシートを使って、学年（低・中・高・特支）で話し合いを進めてください。一番下の段は、個人で書き出しものを貼り、2段目には学年で話し合いながら、3つ程に絞ってください。最後に焦点化するものを記入してください。（研修終了後学年で1枚集めます）

【指導内容の焦点化】グループ活動

1. 事前のアンケートなどを含めて、児童の実態・現状を確認しながら、それぞれの学年で、今回取り組むねらい、方向性を考える。



資料5

【教材選択】グループ活動

コンピュータ教室に移動して、やりたい授業に使える教材を探してください。もちろん作ってもかまいませんが、リンク集や指導案を参考に、色々見てみてください。

【教材選択】グループ活動

2. 「1」で考えたねらい、方向性を実現させていくために教材（指導案）を探す。そして、どう使えば良いか検討する。



グループ活動2

【指導内容の発表】全体交流

最後に、学年の実態から考えた指導の流れについて、1～2分程度で全体に発表をしてください。

【指導内容の発表】全体交流

3. 「1」「2」をふまえて、学年毎に今回の方向性・テーマと使用する教材、教材の扱い方などを発表し、校内で共通理解を図る。

発表発表ノミ

発表者(氏名)


学年または専攻分野()

発表化した学習のテーマ

使用する教材(参考にした資料、HP、アドレスなど)

指導の流れ

資料6



他学年の児童実態の把握、他学年の指導内容の共有ができたでしょうか。また、授業の相談をお互いにしながら、校内の情報モラル教育を進めていきたいですね。

これで、本日の研修を終わります。おつかれさまでした。

コンピュータ教室 座席表(例)

コンピュータ室座席表

入口

育成 育成 2年 2年				3年
1年	育成	2年	4年	3年
1年	6年	6年	5年	3年
1年	6年	6年	5年	4年
	6年			5年



- <発行> 京都市教育委員会 研究課
京都市下京区河原町通仏光寺西入ル 京都市総合教育センター内
TEL 075-371-2705
- <Web サイト> 京都市総合教材ポータルサイトの「研究課」ページより
- <出典> 平成 28 年度 京都市総合教育センター研究紀要 NO.584
学校における情報モラルに関する指導の充実をめざして(1 年次)
ー授業力を高める情報モラル校内研修モデルの構築ー 高橋 雅